

# 記録書 No.10

(2014 年 09 月 24 日～2014 年 10 月 3 日)

2014 年 10 月 03 日  
乃村研究室 B4  
藤田 将輝

## 0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

### (1) 特になし

## 1. 実績

### 1.1 研究関連

#### (1) 研究テーマに関する項目

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| (A) 参考文献の読解        | (50 % , +0 %)    |
| (B) 使用する共有メモリ領域の検討 | (55 % , +50 %)   |
| (C) 割り込みハンドラの動作確認  | (100 % , +100 %) |

#### (2) 開発に関する項目

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| (A) 自動ビルドスクリプトの作成 | (95 % , +0 %) |
|-------------------|---------------|

#### (3) 第 11 回 New 開発打ち合わせ (09/25)

#### (4) 第 261 回 New 打ち合わせ (09/30)

### 1.2 研究室関連

#### (1) ノムニチ開発 (09/26,30,10/01)

### 1.3 大学・大学院関連

#### (1) 特になし

## 2. 詳細および反省・感想

### 2.1 研究関連

- (1C) 割り込み元 OS の占有するコアが割り込み先 OS の占有するコアへ IPI を送信すると、割り込み先 OS が共有メモリに格納されているデータを取得する割り込みハンドラの動作を確認した。IPI の送信と割り込みハンドラの登録のシステムコールは山本凌平さんが作成したものであるため、コードを読解することでこれらのシステムコールの流れを理解する。また、最終目標は NIC ドライ

バに割り込みを発生させられるようにするため，今後はNICドライバのコードを読解し，NICドライバの割り込み発生の流れを理解する．

### 3. 今後の予定

#### 3.1 研究関連

##### (1) 研究テーマに関する項目

- (A) 参考文献の読解 (10/20)
- (B) 使用する共有メモリ領域の検討 (10/16)

##### (2) 開発に関する項目

- (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (10/07)

##### (3) 第12回 New グループ開発打ち合わせ (10/07)

##### (4) 第262回 New 打ち合わせ (10/16)

#### 3.2 研究室関連

- (1) コンピュータセキュリティシンポジウム 2014 発表練習 (10/17)
- (2) 全体ミーティング (10/17)
- (3) 平成26年度第2回研究室内部屋別対抗ボウリング大会 (10/17)

### 4. その他

平成26年度第2回研究室内部屋別対抗ボウリング大会が近付いている．第1回のボウリング大会では幸運のおかげで良い結果を残せた．しかし，今回も運に恵まれるとは限らないため，事前にしっかりと練習して良い結果を残せるようにする．